

科目名：保育実習指導 I (保育所)		講義・ 演習	担当教員名： 平山 紀子
			実務経験： 有
1 年次 後期	1 単位		選択 / 必修
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育実習の意義を理解し自発性を発揮し、真摯に学ぶ姿勢を持つこと。 ・ 実習を充実した学びの場になるよう、実習に必要な心構えがしっかりできていること。 ・ 記録の取り方や保育技術等について理解していること。 ・ 明確な目標や課題を持って「保育専門職」責任感をもって行動できること。 			
<p>授業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育実習 I で実施される実習の意義・目的・内容を理解し、実習を円滑に進めていくための知識・技能・技術を習得する。また、自己の目標・課題を明確にし、実習において自ら進んで学ぶ姿勢を身に付ける。 ・ 各保育所の保育方針や保育目標について調べ、理解し、実践保育に観察・参加することにより保育所の目的や保育士の業務・職務上の留意点等を学べるようにする。 ・ 養成校で理論的に学んだ保育の本質、乳幼児理解、保育の内容について体験的に学び把握できるようにする。 			
授業計画			
1	授業オリエンテーション 実習の意義・目的について		
2	実習に向けて① (実習の概要・課題)		
3	実習に向けて② (実習の内容・心構え)		
4	実習先について		
5	実習の進め方① (実習生個人カード・事前オリエンテーションについて)		
6	実習の進め方② (実習録配布・書類確認)		
7	実習の進め方③ (実習中の諸注意事項)		
8	実習の進め方④ (実習中の諸注意事項)		
9	実習の実践① (子どもの観察と実習中のメモ・実習録の記入方法の要点)		
10	実習の実践② (プレ実習の振り返り、実習録の記入方法)		
11	実習の実践③ (実習録の記入)		
12	実習に活かす保育実技・技術 (ゲストスピーカーを受けて、実技面、技術面等の自分の課題を探り、克服する)		
13	実習における計画と実践について (部分指導案作成)		
14	実習事後指導について (お礼状について・実習報告書について・実習園へのお礼・お別れ・実習の総括と自己評価)		
15	定期試験		
テキスト： 学び続ける保育者を目指す「実習の本」 萌文書林 久富陽子編著			
参考書等：平成 29 年告示 幼稚園教育要領/保育所保育指針/幼保連携型認定こども園 教育・保育要領(原本) 株式会社チャイルド発行 保育所保育指針解説 平成 30 年 3 月 厚生労働省 株式会社フレーベル館発行			
評価の方法：出席状況、受講態度、授業中に行う小テスト、提出課題及び期末試験等により総合的に評価			